Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

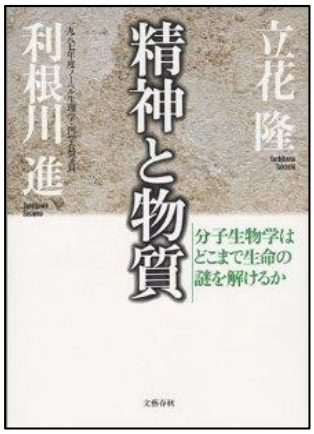
1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第88回（1/6）伊藤素行先生 推薦ブックガイド

※掲載されている本はL棟2階　あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

精神と物質：分子生物学はどこまで生命の謎を解けるか

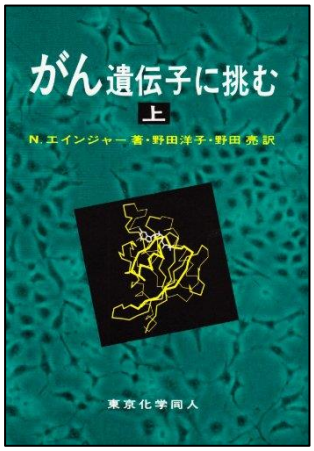
著者：立花隆, 利根川進著
出版社：文藝春秋
コメント：免疫学でノーベル賞をとった利根川博士が自身の研究ヒストリー、研究者として大事なこと、現在取り組んでいる脳科学研究への見地を立花隆氏との対談形式で語る。



Book2

がん遺伝子に挑む　（上・下）

著者：ナタリー・エインジャー[著]；野田洋子, 野田亮訳
出版社：東京化学同人
コメント：「生命とは何か」を考えたくなる一冊。生命進化の様々な謎について語られており、自由な発想が新しい学問を創ることを実感できます。



Book3

ヒトのなかの魚、魚のなかのヒト：最新科学が明らかにする人体進化35億年の旅

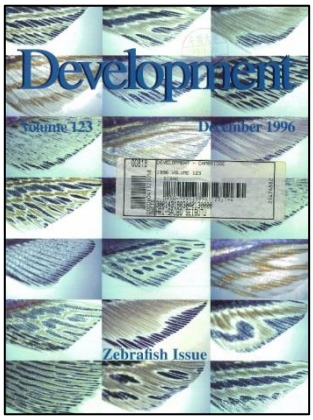
著者：ニール・シュービン著；垂水雄二訳
出版社：早川書房
コメント：シカゴ大医学部で人体解剖学を教える著者は魚と陸生動物の中間種ティクターリクの化石を発見した古生物学者である。魚からヒトへの進化的考察から、ヒトの体の仕組みや病気の原因とその予防について見えてくる。

※掲載されている本はL棟2階　あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Journal1

Development

December 1, 1996; 123 (1)



コメント：ショウジョウバエの遺伝学でノーベル賞をとったNusslein-Volhard博士がゼブラフィッシュを用いて大規模変異体作製を行った。新しく発見されたゼブラフィッシュ突然変異体1500種類を37論文に分けて収めた特集号。一つの生物だけでこれだけ多くの変異体が一度にまとめて報告された例は珍しい。

→紙の雑誌で読むなら

配架場所：本館K棟1階洋雑誌【電動集密書架】49D

→Webで読むなら

http://dev.biologists.org/content/123/1.toc

（図書館Webサイト「電子ジャーナルAtoZ」で"Development"を検索してもたどり着けます。）